

『科学が対話を必要とするとき』



NPO法人福島ダイアログ 理事長

speaker:

安東 量子 氏

profile

主な著書：
『海を撃つ：福島・広島・ベラルーシにて』
(みすず書房，2019)

経歴・活動実績：

https://researchmap.jp/Ryoko_ANDO



Date: 2021年
12月1日

VENUE: ZOOM

午後5時5分

履修生以外の聴講希望者は
フォームから登録してください→



(こちらからでも登録できます)

https://www.agc.a.u-tokyo.ac.jp/wp/fg6_211201/



about:

この授業
「放射線環境科学」
について

福島第一原発事故に起因した農業環境における放射能汚染の実状
および調査研究により得られた知見を学ぶ

2011年3月の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故では多くの放射性物質が環境中に放出されました。放射性物質が降下した場の多くは農林水産産業の場であり、事故直後から農学者により多くの調査研究がなされました。この講義シリーズでは、食の安全と農業環境に焦点を当て、農業の場における放射能汚染の実態とその対策のための試験研究で得られた知見を学びます。当該事故と同時代を生き、今後世界を舞台に活躍が期待される受講者にとって、この講義シリーズが、当該事故を体験とともに語れる人材となる最初のステップとなることを期待します。